

ご使用前にこの添付文書を必ずお読みください。
また、必要時にそなえて大切に保管してください。



第2類医薬品



解熱鎮痛薬

アセトアミノフェン錠「クニヒロ」

頭痛、生理痛に

アセトアミノフェン錠「クニヒロ」は、主に脳（中枢神経）に作用し、痛みや発熱をおさえます。胃にはもともと、胃酸から胃壁を守るプロスタグランジン（PG）という物質がありますが、PGにはほとんど影響を与えないので、胃にもやさしいお薬です。服用しやすいフィルムコーティング錠です。



⚠️[使用上の注意]

してはいけないこと ❌

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります）

- 次の人は服用しないでください。
 - 本剤または本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - 本剤または他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬
- 服用前後は飲酒しないでください。
- 長期連用しないでください。

相談すること 🗣️

- 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師または登録販売者に相談してください。
 - 医師または歯科医師の治療を受けている人。
 - 妊婦または妊娠していると思われる人。
 - 高齢者。
 - 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - 次の診断を受けた人。
心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
そ の 他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
薬剤性過敏症症候群	皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節(首、わきの下、股の付け根等)のはれ等があらわれる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

- 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この添付文書を持って医師、歯科医師、薬剤師または登録販売者に相談してください。

[成分と作用]

1回量（1錠）中

成分	含量	作用
アセトアミノフェン	300mg	熱を下げる・痛みをやわらげる

添加物として、乳糖水和物、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒプロメロース、酸化チタン、タルク、カルナウパロウ、ステアリン酸マグネシウムを含有します。

[効能・効果]

- 1) 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛（のどの痛み）・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざにともなう痛み（ねんざ痛）・月経痛（生理痛）・外傷痛の鎮痛
- 2) 悪寒（発熱によるさむけ）・発熱時の解熱

[用法・用量]

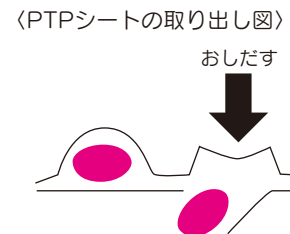
次の量を服用してください。ただし、かぜによる悪寒・発熱時には、なるべく空腹時をさけて服用してください。

年齢	1回量	1日服用回数
成人（15歳以上）	1錠	3回まで。 服用間隔は4時間以上おいてください。
15歳未満		服用しないでください。

<用法・用量に関連する注意>

- (1) 定められた用法・用量を厳守してください。
- (2) 錠剤の取り出し方

右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出してお飲みください。（誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。）



[保管および取扱い上の注意]

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 誤用をさけ、品質を保持するために他の容器に入れかえないでください。
- (4) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

本製品についてのご相談は、お客様相談窓口までお願い致します。
お客様相談窓口 フリーダイヤル 0120-023520
受付時間 平日9：00～17：00（土、日、祝日を除く）

副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構

http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html

電話 0120-149-931（フリーダイヤル）

兵庫県尼崎市長洲本通2丁目8番27号

皇漢堂製薬株式会社

(23.01.改訂)